

“まずはYESと、素直にやってみたら”

「君にやつてもらわないとダメなんだよ」と言われるようになった。

工場などで、機械が止まったら…？そんな企業の生命線に関わる状況の中で真価を発揮するプロ集団が、(株)テックア技研だ。入社12年目の、さんが、体験的に導きだした「キミにやつてもらわないとダメなんだよ」とお客様に言っていただけける仕事の導き方とは。

な人、とにかく仕事が早い人…色々でした。が、共通して感じたのは「みんながプロ意識を持って仕事をしている」ことだったんです。まあ、バイトの自分から見れば、皆がプロであることは当たり前なことなんです。しょうけど(笑)。

「こちらに入社したきっかけは？」

た気がしますがね。ウチの仕事は業種的に言えば、「3K」の部類になるんでしょうが、汚れた作業服で帰ってくる大人達の、心地よい疲労感と達成感をたたえた顔がいいな、面白いなと。

17歳くらいの時だったのですが、ココにバイトで入ったんです。それがきっかけです。なんだか、面白いところだなあと思いましたよ。

「惰性？ ですか？」
まあ、よけいな事を考えずに突き進んで来られた、というところですかね。今では仕事そのものより、これまで自分が学んだ技術をみんなに伝え、共有し、後進の成長を手助けすることへの面白さも感じています。(ビジネスコーチングを勉強中!!)

「面白い？ 具体的には？」

いや、色んな人がいるなあと(笑)。17歳から見れば、自分の親父のような人が大勢いるんですね。もちろん年齢的には親父と同じでも、やっぱり違う。いつも疲れきった顔の人や、やたら声が大きくて豪快

「そして12年前、正社員として入社されましたね。そして現在、ご自身のお顔はどうでしょうか。満足されていますか？」(笑)
不満ももちろんありますが(笑)、まあ、満足ですね。当然ですが、仕事そのものに面白さを感じなければ、12年も続かなかったでしょうし。

「お仕事の魅力とは、どんなところだった



「よけいな事を考えずに突き進む。それは転職者に限らず、仕事で成長する上でのポイントでもありますよね。御社が考える『理想的な人材像』にもつながるものだと思いますが、もつと具体的には？」

これは弊社がというより、多くの企業が求める人材像かもしれません。…「仕事に対しては、まずはYESマンになれ」と、私は考えています。これは悪い意味ではなく、「自分は〇だからできない」と自ら壁を作らずに、とりあえずやってみる。前向きな気持ちで、最初の一步を踏み出してほしい、という意味です。

もちろん、イヤなことから逃げるのが全て悪いとは言いません。私もそうでしたから(笑)。でも「まずはやってみる」ことで初めて、仕事の中に面白さや楽しみを見いだせる。それが見つかれば成長もできるし、よけいな事を考えずに済みます。仕事を、単なる生活費を稼ぐ手段とするか、お客様から「キミにやつてもらわないとダメなんだよ」と言われるような、自分しかできない仕事として取り組むか…。与えられた仕事に対し、能動的に、どうすれば「YES」と言えるかを考える。まずはそこが大事だと思いますね。

